

平成23年度第1回 福岡市中央卸売市場開設運営協議会 議事録

1. 開催日時 平成23年9月2日(金) 14:00～
2. 場 所 福岡市中央卸売市場鮮魚市場会館2階 第1会議室
3. 出席者 福岡市中央卸売市場開設運営協議会委員 11名(別紙委員名簿参照)
欠席: 谷健二委員, 甲斐諭委員, 平川眞臣委員(代理), 橋本清実委員(代理)
市側: 農林水産局長 外23名
4. 傍聴人 1名
5. 議 題 (1) 会長及び副会長の選任について
(2) 所属部会の決定について
6. 報 告 (1) 新青果市場整備事業の進捗状況について
(2) 鮮魚市場西冷蔵庫整備事業の進捗状況について

7. 会議内容

農林水産局長あいさつ, 委員紹介, 開設者紹介の後, 議事に入る。

【議題1 会長及び副会長の選任について】

会長及び副会長の任期満了に伴い, 新たに会長及び副会長の選任を行った。

会長は委員互選により, 大石修二委員を選任, 任期は2年間。

副会長は委員互選により, 甲斐諭委員を選任, 任期は2年間。

現会長退任あいさつ, 新会長就任あいさつの後, 次の議題に入る。

【議題2 所属部会の決定について】

今年度, 委員5名及び専門委員5名が新たに委員となり, 委員の所属部会については, 大石委員は青果部会, 江藤委員は食肉部会, 綿貫委員は食肉部会, 津田委員は水産物部会, 中村委員は青果部会に会長が指名した。

また, 専門委員については, 事務局よりこれまでの慣例による所属部会案を説明。

会長が, 事務局案のとおり決定。

【報告事項1 新青果市場整備事業の進捗状況について】

事務局より説明。

議 長: 事務局から説明がありました「新青果市場整備事業の進捗状況について」の報告について, 何か意見・質問は。

委 員: 今回, PFIではなく, 直営で行うということで結論が出たということなので, 改めて確認をしておきたい。基本設計だけではなくて, 実施設計・建設・管理運営なども市直営で行うということであったが, PFIのデメリットは何であったのか。

事 務 局: 一般論で申し上げると, 要求水準が充分でない場合は, 業務の性能確保が難しくなる, もしくは長期契約のために適切なモニタリングが必要となるということがあ

る。行政側で、十分な性能評価・民間事業者の経営の安定性を評価する労力があるというのが一般的なデメリットである。

しかし市場は、市民が利用する施設ではなく、卸売業者や仲卸業者、売買参加者などの市場関係業者が市場施設使用料を負担し使用される施設であるため、施設の整備にあたっては、業界の意見を充分反映させたものでなければならない。さらに新青果市場整備においては、市場内に大型の物流センターや低温卸売場、冷蔵庫などの大きな施設を自主整備される。これに関しては実施設計以降においても調整を要する事項であるため、契約内容や規約に拘束されるPFIではなくて、柔軟な対応ができる直営に決定した。

委員： 実際に市場を使用される業界の方の意見が、どのように反映されるかが、最大のポイントだったと思う。業界の方々の議論の結果、直営で行うと決定したということは、評価したい。

国との協議の中で、直営で行うとした場合でも、これを理由に補助の対象としないことはないという説明であったが、現在でも国との協議はしているのか。

事務局： 国の回答がこのような表現であったため、そのとおり資料に記載させていただいた。

今後は、強い農業づくり交付金の確保のために、PFIであったとしても、直営であったとしても、交付金確保という形で、引き続き協議を進めていくとともに、60億円を確保するために、さらに綿密な協議をしていく。

委員： 今後の協議のスケジュールはどのようになっているか。

事務局： 国の予算は単年度予算となっている。現在は平成24年度概算要求の時期であり、これに合わせて事業手法を変更している。

今後は来年度の予算確保という形で、年末の内示から次年度に向けた交付申請についての協議となる予定である。

平成25年度から具体的な建設となるため、ちょうど1年前の概算要求からが、具体的な予算確保の協議となる。現在のスケジュールでは、平成25年度の中途に建設に着手し、2ヶ年間、平成27年度の中途に本体が完成することとなっている。それについて毎年概算要求、具体的な内示があった後に向けて、それぞれ国と協議を進めていくという段取りになっている。

委員： 防災対策について伺いたい。

こども病院の移転・建設の際に、市長が九大の専門家の方々に意見を聞いていた。新しい土地であって、今後いろんな災害が起きる可能性があると言われていたが、防災について3.11以降、何か具体的に対策はあるのか。

事務局： 新青果市場の場所がアイランドシティということで、各関係業界の方々も関心を持っておられた。こども病院移転の検討の経緯も踏まえながら説明を行った。

防災対策については、大きく3点に分けられる。

まず、地震そのものの揺れに関しては、警固断層から離れるため、現在の青果市場よりも揺れは少ないとされているが、そもそも中央卸売市場というのは、生鮮食料品の安定供給、もしくは災害時の支援物資供給施設となっており、通常の施設よりは25%強度を増して整備をするため、地震そのものの揺れに対しては万全の対応

をとっていく。

また、津波についても、670年以降の博多湾の津波の状況を見ると、大きく4回程度記録されているが、今回の東日本大震災の影響で起こった30cmというのが最大の津波である。断層等の関係で、津波が起こりづらいという状況があるため、心配はない。

最後に、液状化現象については、関係業界の方々も非常に心配されているが、アイランドシティはきめの細かい土で埋められており、細かければ細かいほど、水が入る余地がないため、そもそも液状化現象は起こりづらい。また、圧力をかけて、中の水を抜くという地盤改良が行われている。これについては、東日本大震災でもこの地盤改良は非常に有効であるということが立証されている。

なお、改めて農林水産局でも地質調査を行い、今後必要な対策をとり、万全な対応をとっていく。

委員： 九大の教授は、人工島というのは新しい土地であり、長い間安全であった場所と、最近作った場所と同じ安全性があるという誤解は持たない方が良いという指摘もあった。このことを肝に銘じて受け止めていく必要があるということを指摘しておきたいと思う。

議長： 他に何か意見・質問は。

委員： なし

【報告事項2 鮮魚市場西冷蔵庫整備事業の進捗状況について】

事務局より説明。

議長： 事務局から説明がありました「鮮魚市場西冷蔵庫移転・整備事業の進捗状況について」の報告について、何か意見・質問は。

委員： なし

議長： これをもって、平成23年度福岡市中央卸売市場開設運営協議会を閉会する。